# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

**東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。**

**本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **【研究課題名】** | チン小帯脆弱の水晶体形状および眼内レンズ位置への影響の評価 | | |
| 1. 研究の目的と方法 | 白内障手術では水晶体の内側の濁りを取り除き、水晶体嚢と呼ばれる袋の中に眼内レンズが挿入されます。水晶体はチン小帯という組織に支えられていますが、このチン小帯が弱く水晶体が不安定な状態(チン小帯脆弱)となっていることがあり、通常の術式では眼内レンズの固定ができないことがあります。術前に診断ができていればあらかじめチン小帯脆弱を想定した術式や機器などの準備が可能ですが、手術時にチン小帯脆弱が発覚することもあります。また、通常手術とは異なった眼内レンズ固定位置となるため、術後の眼内レンズ位置の傾向を知ることは正確な眼内レンズ度数選択の上で重要です。本研究では、術前のチン小帯脆弱の有無が水晶体および術後の眼内レンズ位置に及ぼす影響を検討します。 | | |
| 2. 研究期間 | 倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。 | | |
| 3. 対象となる方等 | 東京慈恵会医科大学附属病院にて白内障で経過観察中または当院および他院にて白内障手術を行い、2019 年 4 月～2025 年 3 月に東京慈恵会医科大学附属病院を受診した方。 | | |
| 4. 研究に利用する試料・情報について | (1)試料の種類 | 試料は使用しません。 | |
| | (2)試料の取得の方法 | 試料は使用しないため、該当しません。 | |
| | (3)情報の種類 | 診断名、年齢、性別、検査結果（視力検査、眼圧、眼軸長、三次元画像解析、眼内収差測定） | |
| | (4)情報の取得の方法 | 診療録から診療時のデータを収集します。 | |
| 5. 研究の実施体制 | あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。<br>試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。 | | |
| | (1)当施設の研究責任者または研究代表者 | 研究機関名 | 東京慈恵会医科大学附属病院眼科 |
| | | 氏名 | 増田　洋一郎 |
| | (2)当施設の長 | 東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥 | |
| | (3)当施設の試料・情報の管理責任者 | 東京慈恵会医科大学附属病院眼科　小松功生士 | |
| | (4)共同で研究を実施する施設とその責任者 | この研究では共同で研究を実施する機関はありません。 | |

| | |
|---|---|
| 6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて | この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。<br>試料・情報の利用開始予定日：2022 年 5 月頃～ |
| **【問い合わせ先】** | 機関名：東京慈恵会医科大学附属病院眼科<br>研究責任者：増田洋一郎（マスダヨウイチロウ）<br>電話番号：03-3433-1111（内線：3581）<br>対応時間：平日 9:00　～　17:00 |

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。